



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 ヒラキ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3059

URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治 TEL (078) 967-4601

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,090	△7.7	677	3.7	713	24.5	403	13.0
25年3月期第3四半期	16,356	△3.9	652	△17.4	573	△9.4	356	△1.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 218百万円(△61.4%) 25年3月期第3四半期 565百万円(47.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	82 64	-
25年3月期第3四半期	73 43	72 72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,042	4,699	26.0
25年3月期	16,095	4,579	28.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,699百万円 25年3月期 4,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
26年3月期	—	10 00	—		
26年3月期(予想)				10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△3.1	700	19.0	600	12.5	330	0.6	67 61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	5,155,600株	25年3月期	5,155,600株
26年3月期3Q	274,630株	25年3月期	274,600株
26年3月期3Q	4,880,987株	25年3月期3Q	4,860,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、各種政策効果の発現がみられ、輸出や設備投資の持ち直しから企業収益や雇用情勢は改善し、また消費税率引き上げに伴う個人消費の駆け込み需要の影響もあり、緩やかに回復する動きがみられました。しかしながら、靴業界におきましては、依然、消費者の節約志向が続いており厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、通販サイトにおけるWEB機能の向上、およびWEB機能を活かした販売促進活動の効率化に取り組みました。通販サイトの商品情報の充実、サイトの使い易さを実現するとともに、商品開発・販売促進・商品管理を一体化させた新組織体制のもと、自社開発商品に対する社内評価体制、ディスカウント店舗との情報共有による売れ筋情報収集、顧客購入分析といった活動から独自入手した情報を活かし、タイムリーかつお客様の属性ごとにセグメントされた販売促進活動が可能となりました。

一方で、海外交易会への参加人員を大幅に増員し、協力工場の新規開拓の強化を進めてまいりました。このような活動を通じて、引き続き「商品力の強化」に取り組み「驚き・楽しさ・満足感」を実感して頂ける新商品を順次投入いたしました。

具体的には、レディースからキッズ、メンズまでフルサイズ展開し、7色のカラーバリエーションを揃えた『548円 ショートボアブーツ』が8月の発売開始より継続して好評を頂いております。また、フィット感を追求し、スニーカーのような履き心地を実現した走れるパンプス『609円 レディースカジュアルシューズ』を春からの需要に向けて先行投入致しました。

ディスカウント事業におきましては、岩岡店では「日本最大級の靴売場」、各支店では「圧倒的な地域一番の靴売場」を目指し、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての差別化を図るため、圧倒的な安さを実現した自社開発商品の展開を強化するとともに、催事イベントの誘致に取り組み集客力の向上に努めました。また、『特価大商談会』の定期的な開催、および新規仕入先の開拓についても継続的に取り組み、収益性の改善に努めてまいりました。

卸販売事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において靴販売店向けカタログ『大卸』の配布先をさらに増加させ、収益性の確保を図りながら量的拡大に向けての取り組みを強化いたしました。

このような取り組みにもかかわらず、第1四半期連結会計期間における通信販売事業の低迷、および不採算店舗であった氷上山南店を一昨年10月末に閉店したことによる売上高の減少が影響し、当第3四半期連結累計期間における売上高は150億9千万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における「仕入先政策の強化」による粗利率の改善、不採算店舗の閉店による収益力の強化に取り組み、営業利益は6億7千7百万円（前年同四半期比3.7%増）となり、当第3四半期連結累計期間において増益に転じました。また、経常利益については、円安傾向による為替差益の増加などにより7億1千3百万円（前年同四半期比24.5%増）、四半期純利益は4億3百万円（前年同四半期比13.0%増）の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、第2四半期連結会計期間において受注が好調だった秋冬商品の反動もあり、当第3四半期連結会計期間の売上高は伸び悩み、当第3四半期連結累計期間における売上高は78億円（前年同四半期比3.5%減）となりました。利益面では、商品力強化による販売価格の見直しや物流業務の効率化に引き続き取り組み、第2四半期連結会計期間以降、収益は改善しておりますが、第1四半期連結会計期間の不振、新規顧客獲得強化の施策などから、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益（営業利益）は9億2千7百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、氷上山南店の閉店の影響などにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は69億7千2百万円（前年同四半期比11.3%減。なお、閉店を除く既存店では4.9%減）となりました。利益面では、仕入先政策の強化や自社開発商品の拡販などによる粗利率の改善、および不採算店の閉店などにより、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益（営業利益）は5千4百万円（前年同四半期は3千4百万円の損失）となり、営業損失から脱して黒字化することができました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の売上高が増加する一方、当第3四半期連結会計期間においても大口OEM販売先について取引が伸び悩む傾向が継続し、当第3四半期連結累計期間における売上高は3億1千7百万円（前年同四半期比23.2%減）、セグメント利益（営業利益）は2千万円（前年同四半期比34.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、21億6千5百万円増加し、108億3百万円となりました。これは、現金及び預金が27億6千9百万円増加し、商品が2億2千7百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、2億1千7百万円減少し、72億3千9百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億8千6百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、19億4千7百万円増加し、180億4千2百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、3億8千万円増加し、46億9千8百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3億5千万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、14億4千6百万円増加し、86億4千3百万円となりました。これは、長期借入金が14億6千6百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、18億2千7百万円増加し、133億4千2百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1億2千万円増加し、46億9千9百万円となりました。これは、利益剰余金が3億5百万円増加し、繰延ヘッジ損益が1億9千3百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント減少し26.0%となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ6億5千2百万円増加し、29億9千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、10億7千6百万円（前年同四半期は6億7千万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億7千3百万円の計上、たな卸資産の減少1億8千5百万円、法人税等の支払額2億6千1百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、21億4千8百万円（前年同四半期は2千万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の純増減による支出21億1千7百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、16億9千1百万円（前年同四半期は4億3千万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入37億円、長期借入金の返済による支出18億8千3百万円によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想に関しましては、平成25年11月8日に開示いたしました「業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,342,805	5,112,243
受取手形及び売掛金	1,020,226	890,369
商品	4,512,870	4,285,469
未着商品	119,289	162,325
貯蔵品	17,029	15,953
繰延税金資産	—	12,418
その他	646,025	345,341
貸倒引当金	△20,598	△20,759
流動資産合計	8,637,649	10,803,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,736,140	3,550,093
土地	3,321,205	3,304,764
その他(純額)	220,625	191,245
有形固定資産合計	7,277,970	7,046,103
無形固定資産	38,273	39,270
投資その他の資産	141,116	154,079
固定資産合計	7,457,360	7,239,453
資産合計	16,095,009	18,042,816
負債の部		
流動負債		
買掛金	928,772	1,083,372
1年内返済予定の長期借入金	2,179,671	2,529,813
未払法人税等	176,527	147,116
繰延税金負債	57,463	—
賞与引当金	158,818	86,355
役員賞与引当金	—	5,718
ポイント引当金	34,448	35,100
その他	782,296	811,497
流動負債合計	4,317,999	4,698,973
固定負債		
長期借入金	6,889,255	8,355,371
退職給付引当金	90,902	101,591
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	29,835	30,241
その他	174,208	143,127
固定負債合計	7,197,769	8,643,901
負債合計	11,515,768	13,342,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	2,758,136	3,063,870
自己株式	△143,552	△143,570
株主資本合計	4,214,026	4,519,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,680	5,220
繰延ヘッジ損益	355,619	161,650
為替換算調整勘定	4,913	13,328
その他の包括利益累計額合計	365,214	180,199
純資産合計	4,579,240	4,699,941
負債純資産合計	16,095,009	18,042,816



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	16,356,010	15,090,877
売上原価	9,927,629	8,773,039
売上総利益	6,428,381	6,317,837
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,726,251	1,711,883
貸倒引当金繰入額	18,891	13,681
ポイント引当金繰入額	34,630	35,666
給料手当及び賞与	1,743,845	1,663,668
賞与引当金繰入額	87,943	86,355
その他	2,163,976	2,129,292
販売費及び一般管理費合計	5,775,538	5,640,547
営業利益	652,843	677,289
営業外収益		
受取利息	4,297	3,942
受取配当金	981	1,058
為替差益	23,171	74,907
その他	26,293	58,051
営業外収益合計	54,745	137,959
営業外費用		
支払利息	101,469	95,203
デリバティブ評価損	32,226	—
その他	703	6,194
営業外費用合計	134,399	101,398
経常利益	573,189	713,851
特別損失		
固定資産売却損	—	26
店舗閉鎖損失	7,076	—
減損損失	—	40,476
特別損失合計	7,076	40,503
税金等調整前四半期純利益	566,113	673,348
法人税、住民税及び事業税	169,333	236,256
法人税等調整額	39,852	33,738
法人税等合計	209,186	269,994
少数株主損益調整前四半期純利益	356,926	403,353
四半期純利益	356,926	403,353

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	356,926	403,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△798	539
繰延ヘッジ損益	209,781	△193,969
為替換算調整勘定	△119	8,414
その他の包括利益合計	208,863	△185,014
四半期包括利益	565,789	218,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,789	218,338
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	566,113	673,348
減価償却費	264,486	238,394
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,303	161
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71,706	△72,463
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,343	5,718
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	533	651
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,363	10,689
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△2,210	—
受取利息及び受取配当金	△5,279	△5,000
支払利息	101,469	95,203
為替差損益 (△は益)	△57,809	△26,154
減損損失	—	40,476
売上債権の増減額 (△は増加)	131,499	130,960
たな卸資産の増減額 (△は増加)	201,187	185,440
仕入債務の増減額 (△は減少)	△54,120	150,620
その他	△51,403	1,669
小計	1,042,768	1,429,716
利息及び配当金の受取額	5,204	4,462
利息の支払額	△100,730	△96,134
法人税等の支払額	△276,281	△261,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	670,961	1,076,551
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△900	△2,117,300
有形固定資産の取得による支出	△17,141	△25,228
無形固定資産の取得による支出	—	△4,971
投資有価証券の取得による支出	△2,102	△2,165
その他	98	1,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,044	△2,148,157
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	—
長期借入れによる収入	2,800,000	3,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,658,436	△1,883,741
自己株式の取得による支出	△6,805	△18
ストックオプションの行使による収入	25,850	—
配当金の支払額	△96,102	△97,313
その他	△33,608	△27,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	430,897	1,691,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	58,121	32,527
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,139,935	652,137
現金及び現金同等物の期首残高	1,565,278	2,339,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,705,213	2,991,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,083,207	7,858,784	414,019	16,356,010	—	16,356,010
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,083,207	7,858,784	414,019	16,356,010	—	16,356,010
セグメント利益又は損失 (△)	996,268	△34,231	32,180	994,217	△341,373	652,843

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△341,373千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,800,205	6,972,698	317,972	15,090,877	—	15,090,877
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,800,205	6,972,698	317,972	15,090,877	—	15,090,877
セグメント利益	927,211	54,298	20,960	1,002,470	△325,180	677,289

(注) 1 セグメント利益の調整額△325,180千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。